

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう！**

自分の家がどこにあるかハザードマップで確認し、印をつけてみましょう。

ハザードマップで家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、秩父市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、立退き避難（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
※浸水の危険があっても、以下の場合には自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日ごろから相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、秩父市が指定している避難所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日ごろから相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、秩父市が指定している避難所に避難しましょう。

いずれの場合も、安全な避難経路を普段から確認しておきましょう！

避難する場合は以下のポイントを確認し安全に避難しましょう！

- ❗ 警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ❗ 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- ❗ 避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

避難する際は、近所の方にも声を掛け、お互いに助け合いましょう！